

# 夜間学校 ニュース

1987年 7 月 17日  
西成区萩之茶屋2-8-9  
旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の

指紋押なつ拒否断固支持!

定住外国人に市民権を!

## 労働者のため?

### 治安対策?

#### 天日王葬式の日アブレ支給のなぜ?

木曜日にアブレももらいにいったら、次のような書き込みを窓口に置いてあった。  
労働者の皆さんへ、え、月24日の取扱いについて、え、月24日(金)のアブレ手当の支払業務は平常通り行います。なお、午後からの業務(更新等)は行いません。  
ありりん 監査所長

世の中、24日の葬式の日、特別なことを国庫に強制するな、自主的な判断にまかせろべきだ、という声がか、ほうほうからあげて、いる。昨今、ありりん監査の「業務をおこなう」という決定は、中々、みあげたものだ、たまにはいいことをする、と、一は思ったが、

いや、ちんないズはなからうと考える直してみた。

なぜ、アブレの支払をおこなうのが。もともと、アブレ手当は、あまり労働者の不満が高まらないようにこの百圓から支払われて、る性があるものだ。

ギャンブルなし、仕事なしの労働者の不満が、もともとも高まりやすい日に、アブレまで休んでしまったら、アブレを今まで支払い続けたい子意味がない、と考えたせい、かも知れぬ。

## 仲間の死

本籍不詳、住所西成区南津守7-4-46西島マンション102号、氏名自祐重光達夫、年齢52歳の男、遺留金100現金6200円、腕時計

右の者は昭和62年1月5日午前7時15分ごろ、西成区山王1-1-1環状線内回り一津屋踏切内にて発見されたもので、同日午前7時7分同所において破産宣告による頭蓋骨折兼脳挫傷により死亡したものと見られる。身柄引取人不明につき、阿破斎場にて火葬に付した。

# 吊問外交 思惑それぞれ

## 大喪の礼に参列する各国



ブッシュ  
ミクロネシア大統領



ミツタラン  
パラオ大統領



ムバラク  
エジプト大統領



フセイン  
ヨルダン国王

各国元首が五十人以上——空前の規模となる昭和天皇の大喪の礼（二十四日）への海外からの参列者は、東京でのわずかな滞在期間中にとりよる吊問外交を繰り広げるのだから。米新政権に注目している国は多く、ブッシュ米大統領と各国代表の公式、非公式の接触が予想され、同大統領にとりよる初の大外交の場となる。また、経済大国ニッポンからの援助を求める国々にとりよる日本側との経済外交も焦点となる。その一方で、昭和天皇の戦争責任をめぐる論争を引きずったまま参列に踏み切る国も多く、日本に対する「わだかまり」は残されたままだ。こうした各国の様々な思惑や「お家の事情」を、本誌特派員の目を通して探った。

〈同盟のきずな〉ブッシュ大統領の参列を聞いた米国民の関心は、太平洋戦争中、小笠原で乗機を墜落させた体験を持ち、自伝の中でも広島、長崎への原爆投下容認をうかがわせた大統領の天皇親に集まった。記者会見でくり返し質問が飛ぶたび「過去より未来だ」と応対して

〈ナンバー2〉ソ連からは当初、ゴルバチョフ書記長が参列し、ひよっとしたら東京での米ソ首脳会談が開かれるのでは、とのうわさも流れた。結局、儀典が主な担当の副元首、ルキヤノフ最高会議幹部会第一副議長に決定。これを受けて東欧諸国も副元首級の参列を決め、横並びに。このため、吊問外交といえるほどの動きはなぞぞだ。その中でハンガリーだけが元首であるシュトラウプ国民議会議長を派遣。韓国と国交樹立の直後だけにアジア重視の姿勢を打ち出した。

〈中東和平〉パレスチナ問題と直接のかかわりを持つエジプト、ヨルダンは、いずれもブッシュ大統領との初めての首脳会談を予定している。米国とパレスチナ解放機構（PLO）の対話開始、米国の

### 一番動くは仏大統領？

### 日本の援助に狙い

### 「わだかまり」残し

きたが、大統領が示したこうした姿勢が、経済懸案や責任分担をはじめ今後の日米関係を米国内にとりよる展開するひとつの材料になるとの思惑を、米政府当局者は否定しない。

〈実務重視〉ミツタラン大統領は吊問外交を最も実質的に展開するとみられる。仏革命二百年祭と重なる七月のパリ・サミット（主要先進国首脳会議）を従来のサミットのイメージから一新させようとの構想からだ。二日間の滞日中、ミツタラン大統領は竹下首相、ブッシュ米大統領との会談を予定しているが、新天皇との個別会談も要請している模様だ。

〈侵略の傷跡〉韓国政府が姜英勳首相の派遣に落ち着いたのは日本が三十八年間に及んだ植民地統治の清算を果たしていな配慮したためだ。姜首相の出席に対しても、民主化勢力をバックとするハンギョレ新聞は「侵略戦争の行為を

ベス女王の夫君フィリップ殿下の参列について、「極東戦時捕虜の会」など、第二次大戦中に日本軍と戦った経験のある旧軍人層が強硬に反対。ビルマ戦線で戦った旧軍人をつくる「ビルマ・スター協会」は、強硬派の要求で今月一日、会の名誉会長

をにおわしているのに対し、日本は両者切り離しの原則論に立っているからだ。日本にできるだけ接近しておき、対米カードとして使いたい、との思惑だ。

パキスタンのブット首相も、日本からの援助増に狙いがありそう。アフガニスタンからのソ連軍の撤退完了で、米国にとりよるパキスタンの戦略的地位が低下するのは懸念や、核保有問題をめぐり摩擦から、米の対パキスタン援助継続に不安を強めている。だから、日本の援助をより確かなものにして、この気持ちでブット首相にはあるようだ。

〈古い友人〉昔から皇室との関係の深いタイ王室からはワチラロンコン皇太子が出席の予定で、チャチャイ首相も出席したい意向だ。訪日すれば、去年八月の首相就任後初めて、経済関係の強化、技術移転などを要請するとみられる。

インドネシアのスハルト大統領夫妻は早はと参列を表明した。日本はインドネシアにとりよる最大の援助国であり両国関係の重要さを示すものと受け止められている。

滞在中には竹下首相との会談を希望。インドネシアは四月から第一期長期開発計画の仕上げとなる第五次五年計画の初年度に入るため、首脳会談では開発計画にからむ援助問題が中心になりそう。

しかし、韓式に参列する人がすぎて、吊問のためにくるのではな

い。いつてみれば、日本の経済力ゆえに来る人も多い。

日本の今の経済力は、だれが疑ったのか。決して、天皇（ロヒン）ではない。そのことは、心臓に刺さる。決して、天皇（ロヒン）であ

あきたいものだ。

〈注〉外務省によると、大喪の礼を連絡した百六十五万ののうち、十日までに参列を決めたのは内定も含め百三十九万。参列者の内訳は元首クラス五十三、王族十四、首相十二、副大統領十五、閣僚四十一など。このうち、一国が複数の国を代表するケースもあり、これらを含めると計百五十二万。欠席が二万。未定が十一万。

中国のマスコミは戦争責任についてほとんど触れていないが、韓国やヨーロッパなどの反発を伝え、間接的な形で中国の意向を表明している。当初、近年の日中経済関係の進展から、国家副主席あるいは副首相クラスの派遣を予測する向きもあったが、戦争責任を重視する党内の長老や保守派の意向をくんで、錢其琛外相という比較的低いクラスに落ち着いたと見られる。

現在、直接交渉が難しい韓国や台湾など周辺国・地域との接触を東京で実現させる可能性も捨て切れない。

〈捕虜体験〉英国ではエリザベス女王の夫君フィリップ殿下の参列について、「極東戦時捕虜の会」など、第二次大戦中に日本軍と戦った経験のある旧軍人層が強硬に反対。ビルマ戦線で戦った旧軍人をつくる「ビルマ・スター協会」は、強硬派の要求で今月一日、会の名誉会長

本軍の行為を許したわけではな

いとのコメントが発表された。オランダ政府のファンデンブルク外相派遣決定は予定より十日遅れた。「外相を派遣するならば国民運動で阻止する」と主張する戦争犠牲者団体と、王族や元首が参列する近隣諸国の動きの間で、閣内の意見がなかなかまとまらなかったのだ。

外相派遣の決定直後、ルベール首相は最大の戦争犠牲者団体「一九四五年八月十五日財団」のブックホルト会長に直接電話をし、理解を求めた。これを受けて同会長はテレビのインタビューで「外交儀礼上、やむをえない。我々の感情は十分重視された」と政府決定に理解を表明した。

戦後、天皇の戦争責任問題を最も強硬に主張したオーストラリアでは、昭和天皇ご逝去の直後から一部の旧軍人らが、「葬儀参列は、ヒトラーの追悼式に参加するよなもの」と、ボイコットを呼びかけた。

これに対して政府は、「貿易上大切な相手の国民と悲しみを分かち合うのは当然」と、ヘイドン次期総督と、タフィー貿易交渉の参列を決めている。

〈経済優先〉フィリピンは対比中期的援助構想「ミニ・マール・プラン」が本格的に始動しようとしている矢先のアキノ大統領参列。

同政府は表向き、援助絡みの来日をきっぱり否定する。しかし、同国の政・財界には、日本の経済力への期待が極めて強い。援助構想では、米国が在比米軍基地協定の延長との見返り

天皇（ロヒン）の葬式に、世界中から色んな人が、色んなおもむくをもつて集って来るよ

うだ。

若い人達は、今まで天皇のことなど気にもして

いなかったのに、

「ヘー、やっぱり天皇さま

の参列、すごいんだ」

などと、思っているものだ。

しかし、韓式に参列する

人がすぎて、吊問のため

にくるのではな

い。いつてみれば、日本

の経済力ゆえに来る人も

多い。

日本の今の経済力は、だ

れが疑ったのか。決して

、天皇（ロヒン）であ

あきたいものだ。